「大分市公共施設使用料等算定基準（案）」の市民意見公募に寄せられた意見等の要旨とそれに対する本市の考え方

令和6年12月13日から令和7年1月14日までの間、「大分市公共施設使用料等算定基準（案）」について、市民の皆様からいただきましたご意見の要旨とそれに対する本市の考え方を取りまとめましたので公表します。

皆様からいただきましたご意見につきましては、今後、大分市公共施設使用料等算定基準の策定を進める際に参考とさせていただきます。

1. 意見募集期間（※意見募集期間は終了しております）

令和6年12月13日（金）から令和7年1月14日（火）

2. 意見提出者数

4人

3. 意見の件数

5件

4. 実施結果の公表

提出していただいたご意見の要旨とそれに対する本市の考え方

5. 意見の要旨と本市の考え方

番号	意見の要旨	本市の考え方
1	<p>体育施設では、設備の条件や駐車場の利用料金など、総合的に算出して欲しい。横並びの利用料金は辞めてほしい。</p>	<p>使用料については、それぞれの施設ごとにかかっている維持管理経費を原価として算定することとしております。</p> <p>なお、同様の規模で類似した機能を持った施設については、施設間で不公平感が出ないように使用料をそろえる形で検討しております。</p>
2	<p>使用料の算定基準に基づいて、適切な使用料を設定してほしい。また、老朽化した施設の整備を進めてほしい。</p>	<p>受益者負担を原則とした適切な使用料を設定するとともに、引き続き計画的な施設整備に努めていきたいと考えております。</p>
3	<p>外部委員会はどのようなメンバーで構成されているのか。また、若者の意見は反映されているのか。</p>	<p>外部委員会は、大学関係者や中小企業診断士などの有識者に加えて、一般公募の学生も含めた委員で組織されており、若い世代の意見も踏まえる中で、算定基準を取りまとめたところです。</p>
4	<p>義務教育施設である小中学校は、公的関与の必要性が普通ではなく高い施設として位置付けられるべきだと考えられるが、こういった理由で普通と位置付けているのか。</p>	<p>学校教育において学校施設を使用する場合は、公的関与の必要性は高くなりますが、使用料を設定し、体育館等を市民に貸し出す場合については、スポーツ施設や社会教育施設としての位置づけで整理を行ったところでございます。</p>
5	<p>使用料や減免基準の変更によっては団体内での予算組みや活動計画の見直しが必要となることから、その影響は非常に大きいと考えられる。そのため、使用料および減免基準の見直しは、施設使用者の金銭的負担が増えることにも繋がるため、十分な周知期間を設けた上で施行して頂きたい。</p>	<p>使用料の改定に当たっては、議会の議決が必要であることから、令和7年第2回大分市議会定例会（6月議会）に提案し、議会の承認が得られましたら、市民の皆様にも周知を行い、令和7年10月から新料金を適用する予定としております。</p>